



茶の茶用字格

4
4243



門加4
番
卷 4243

春登上人著

筆勢不用字格

東京書林 文淵堂藏

筆勢不用字格序

多千 海而有志生於世之何代の状乎
オモハカル 其筆勢之妙也
イソカミ 乙之右使以初毛
ソ 骨更出於乎見之我必自越之
ルモ 新之其法先主志其
チハラ 筆原委也
ニハ オノガ コロコトモ
ソ 其初由海形字不似之何如能



自其有年之或也...
 多...
 法...
 有...
 夫...
 其...
 乃...
 且...
 亦...
 而...

廣...
 一...
 其...
 乃...
 而...
 夫...
 亦...
 而...
 且...
 亦...
 而...

七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



例言

歌かく文字此此彼種々なる如く如何なる古昔々々漢意の風俗
 かづみていふかくは其状を好むるなりかばつゝいふ字め言辭と莊飾
 まじらざるを形跡多也乞其事を委曲言や抑大御國よと云ふこと
 文字たなのをいふ代に歌を直人乃口言傳へ耳に聽傳ふを來りて
 後外國の文字言物渡來て其字音をいふて書傳ふこと古事記日本
 紀に載たる歌るれをいふ此万葉集よりいふ形跡多し此字音記と書
 唱へ奉打うもいふ聞感多く古語を一語意違はるといふこと
 例へばたかくて有の中をいふこと我形まを假字をいふこと
 てを漢字はいふこと其義理をいふこと
 用格も出来より此集に記紀の格なると書るること大抵三種
 種に心得有の中の大畧正義略乃三ある先天を阿米地を都知と訓
 意と字の義と相當はるは訓を訓なす其中の天を曾良地を登許呂也
 訓も同ト形も一の義なり何れか一字の言の意明らかを猶と
 知るをいふこと二字は書る事多し何れかあるは諍競と書る事多し

清明と書る類なまはるるを二字形多傳義或省るるを二字に書るるをわね
 海人と海との類蜻蛉と一字づゝて安幾都と訓るが如し此集書る項を例の漢字に
 目馴る類漢文は残るるに書くと見る多しおのづかに自然と書かへば
 返却と書あふる所知行將装飾な書る類なま此の如く外字の義と言は
 意と違つぬを正訓の例とて信し又一種言と義も疎きに似せし古書は多く
 用ひなはれぬは女志正訓とて辭へを不知を日本紀は伊佐と訓し服と古支記
 小波多る訓る類なま其外字義はハヤとて古昔に來し訓と來しるは
 縵と加都良棕と久良乃類又字畫と有きは残るるに書健と建起と已れ如く此ら
 其用格よとて類を分ては如此種なる書は俗に流るるに熟せず今のを
 ひぬ信し次は義訓此ハ打見とて言と義も物遠まをり形と言は
 以て行流其事と知られぬを以小驟を阿曾夫と訓し隱藏を伊波布と訓る
 類なま此中一種所由何れも書なるるに留るる飛日春日東方鹿子乃類是
 又一種約訓あり此ハ荒磯を安利曾指舉と佐氣類又上乃字の韻り
 とて省るるも多し朝明磐余の類此を連約なるるに留るる共は畧訓の類とて
 信し二は借訓此八字の義を取らば次なる其訓を異意は借るる書るを以て

其用格よとて字音は假字をひきて吾田多良の吾田射狹庭乃射狹又蟻を
 在てし稻を寐とて如或は後なる古書に平城乃頃とて此借訓よ
 書は常事ありて行流假字と同じ義ありて三は戲書此ハ出残山上後
 なる此も言ひて行流假字と同じ義ありて三は戲書此ハ出残山上後
 有山と書横雲を束細布と書る類訓語借訓の中より一は何れも
 心しとて戲しと書るるに類し此又一種とて信し此外上件を信しは
 中は此彼を交へて書るる多し又辞は字残添く書るるあり其ハ數の
 多しは類を分て集

○此書ハ専ら童故等なる物なる類に新字の如く見出せたる
 五十音の部残るる正音正訓等ハの類を分て各其下に本集なる
 五言七言乃句を引る証とて其意集中残るるに奉むる事廣く
 省るる載るるに其中一二句を奉むる証とて多義なる字を
 此限るるに見出せたる三隅を以て信し
 ○古言ハ其本を正しむる説得たる物に言せたる事廣く
 解するに知らるる物に信は多しを以て信し

○正音畧音に字ハ古言撈其外假字遣に書等り多く見えしに略の
 中ハ通音轉音に類ハもれず本音なるハ畧音の下より伝載つ且集中
 証乃詞ハ畧を案にせしむる証と兼ふもてめく一處二處なり証を言証をも漏さず載る
 訓語中ハ常にりて誰れも傳へたる古書に字音の例ハ依りて

○此中ハ目なまぬをむねを奉つ且正訓を古事記日本紀其外新撰字鏡和名
 抄等の訓に例ハ依りて又正字と借字と交へあるを音訓を交へあるを
 辞乃假字を添へて書るなり種々なるを其をひとく分く物を傳へし
 初学のもて傳へるを
 阿波海大らりて止ぬ且本集の歌より傳へる心得傳へるをハたを
 古語中を延約あるの中に延訓を字にせしむる心得を多しに傳へ
 殊にを奉るす信る中より伝載し此中をた約訓を分てり
 借訓ハ字義より分てり書るめはなれ証の詞をわてハ何の言とぞ知ら

○多字を重ねるも其詞に下毎ハ本義を註して戲書といふもの右の類と多
 芽子ハ波に部開ハ佐の部ハ出をり又同字して多訓なり其所に
 出をりて何れ時ハ阿の部何れ時ハ字の部何れの時を於の部
 借廬山際乃如ま垣廬木際なり此等類ハ廬の字際ハ
 字に分ちて奉ぐ又類ハ依りて二所ハ載るも何れ此ハ已りて
 同ト詞を重ねるも字に殊なるもひとく奉つ其の中を本語と二字のた
 一字の順に限り二字ハ二字ハ二字ハ順に限り數の多きをとりて次を
 一字の順に限り二字ハ二字ハ二字ハ順に限り數の多きをとりて次を

○本集見行に本字を字を訓め誤るもの多し此をたを傳へるハ
 畧解本ハ依りて字を訓め誤るもの多し此をたを傳へるハ
 家の名もたを傳へるもの多し此をたを傳へるハ

○地名のあつた名物なるもの字を古書に依りて考ふるは、
と猶字のあつたものや、あつた暫く疑りて、
と此書に拾遺し、あつた

喜多し、以後

萬葉用字格

阿部

正音

阿

畧音

安

正訓

吾

我

旦

生

祖

相

明

酒

浅

賊

敵

旭

開

商

海

曉

祖

相

明

明

堪

足

商

海

靈

餘

邊

耐

蕩

餘

明

相

騰

他

時

異

情

悦

惜

靈

餘

邊

耐

數

蜻

蜓

霰

邊

耐

蕩

餘

邊

耐

蕩

餘

璞

漢

海

人

散

海

部

有

海

士

乃

海

子

海

夫

泉

郎

明

日

香

風

年

魚

海

用字

①、兒、杖走和名抄云春生、明日、
夏長秋衰冬死故名、年魚也、有、
②、此旅人、
③、求食、
④、入江ニニ、
⑤、天降、
⑥、吾妻、
⑦、栗路、
⑧、數多、
⑨、何、
⑩、何、

阿也、
訓、
阿カヌ、
①、不足、
②、不厭、
③、秋時、
④、旭時、
⑤、競、
⑥、鹿玉、
⑦、漢女、
⑧、漢、
⑨、漢、
⑩、漢、

荒、
①、荒、
②、荒、
③、荒、
④、荒、
⑤、荒、
⑥、荒、
⑦、荒、
⑧、荒、
⑨、荒、
⑩、荒、

相、
①、相、
②、相、
③、相、
④、相、
⑤、相、
⑥、相、
⑦、相、
⑧、相、
⑨、相、
⑩、相、

明、
①、明、
②、明、
③、明、
④、明、
⑤、明、
⑥、明、
⑦、明、
⑧、明、
⑨、明、
⑩、明、

漢、
①、漢、
②、漢、
③、漢、
④、漢、
⑤、漢、
⑥、漢、
⑦、漢、
⑧、漢、
⑨、漢、
⑩、漢、

神、
①、神、
②、神、
③、神、
④、神、
⑤、神、
⑥、神、
⑦、神、
⑧、神、
⑨、神、
⑩、神、

白、
①、白、
②、白、
③、白、
④、白、
⑤、白、
⑥、白、
⑦、白、
⑧、白、
⑨、白、
⑩、白、

雖、
①、雖、
②、雖、
③、雖、
④、雖、
⑤、雖、
⑥、雖、
⑦、雖、
⑧、雖、
⑨、雖、
⑩、雖、

對、
①、對、
②、對、
③、對、
④、對、
⑤、對、
⑥、對、
⑦、對、
⑧、對、
⑨、對、
⑩、對、

義、
①、義、
②、義、
③、義、
④、義、
⑤、義、
⑥、義、
⑦、義、
⑧、義、
⑨、義、
⑩、義、

朝、
①、朝、
②、朝、
③、朝、
④、朝、
⑤、朝、
⑥、朝、
⑦、朝、
⑧、朝、
⑨、朝、
⑩、朝、

魚、
①、魚、
②、魚、
③、魚、
④、魚、
⑤、魚、
⑥、魚、
⑦、魚、
⑧、魚、
⑨、魚、
⑩、魚、

東、
①、東、
②、東、
③、東、
④、東、
⑤、東、
⑥、東、
⑦、東、
⑧、東、
⑨、東、
⑩、東、

未、
①、未、
②、未、
③、未、
④、未、
⑤、未、
⑥、未、
⑦、未、
⑧、未、
⑨、未、
⑩、未、

足、
①、足、
②、足、
③、足、
④、足、
⑤、足、
⑥、足、
⑦、足、
⑧、足、
⑨、足、
⑩、足、

今、
①、今、
②、今、
③、今、
④、今、
⑤、今、
⑥、今、
⑦、今、
⑧、今、
⑨、今、
⑩、今、

東、
①、東、
②、東、
③、東、
④、東、
⑤、東、
⑥、東、
⑦、東、
⑧、東、
⑨、東、
⑩、東、

珠、
①、珠、
②、珠、
③、珠、
④、珠、
⑤、珠、
⑥、珠、
⑦、珠、
⑧、珠、
⑨、珠、
⑩、珠、

飛、
①、飛、
②、飛、
③、飛、
④、飛、
⑤、飛、
⑥、飛、
⑦、飛、
⑧、飛、
⑨、飛、
⑩、飛、

入、
①、入、
②、入、
③、入、
④、入、
⑤、入、
⑥、入、
⑦、入、
⑧、入、
⑨、入、
⑩、入、

雞、
①、雞、
②、雞、
③、雞、
④、雞、
⑤、雞、
⑥、雞、
⑦、雞、
⑧、雞、
⑨、雞、
⑩、雞、

煮、
①、煮、
②、煮、
③、煮、
④、煮、
⑤、煮、
⑥、煮、
⑦、煮、
⑧、煮、
⑨、煮、
⑩、煮、

白、
①、白、
②、白、
③、白、
④、白、
⑤、白、
⑥、白、
⑦、白、
⑧、白、
⑨、白、
⑩、白、

非、
①、非、
②、非、
③、非、
④、非、
⑤、非、
⑥、非、
⑦、非、
⑧、非、
⑨、非、
⑩、非、

天、
①、天、
②、天、
③、天、
④、天、
⑤、天、
⑥、天、
⑦、天、
⑧、天、
⑨、天、
⑩、天、

馬、
①、馬、
②、馬、
③、馬、
④、馬、
⑤、馬、
⑥、馬、
⑦、馬、
⑧、馬、
⑨、馬、
⑩、馬、

所、
①、所、
②、所、
③、所、
④、所、
⑤、所、
⑥、所、
⑦、所、
⑧、所、
⑨、所、
⑩、所、

新、
①、新、
②、新、
③、新、
④、新、
⑤、新、
⑥、新、
⑦、新、
⑧、新、
⑨、新、
⑩、新、

足、
①、足、
②、足、
③、足、
④、足、
⑤、足、
⑥、足、
⑦、足、
⑧、足、
⑨、足、
⑩、足、

乾、
①、乾、
②、乾、
③、乾、
④、乾、
⑤、乾、
⑥、乾、
⑦、乾、
⑧、乾、
⑨、乾、
⑩、乾、

有、
①、有、
②、有、
③、有、
④、有、
⑤、有、
⑥、有、
⑦、有、
⑧、有、
⑨、有、
⑩、有、

各、
①、各、
②、各、
③、各、
④、各、
⑤、各、
⑥、各、
⑦、各、
⑧、各、
⑨、各、
⑩、各、

清、
①、清、
②、清、
③、清、
④、清、
⑤、清、
⑥、清、
⑦、清、
⑧、清、
⑨、清、
⑩、清、

荒、
①、荒、
②、荒、
③、荒、
④、荒、
⑤、荒、
⑥、荒、
⑦、荒、
⑧、荒、
⑨、荒、
⑩、荒、

目者、聚率比、賜比、葦若未、足莊嚴、畧

訓網、足、約訓、荒磯、荒石、朝開

荒海、淡海、飽浦、朝明、朝開

旦明、旦開、朝、早、風、借訓余

朝旦、朝名旦名、朝、朝、朝

穴、尼、綾、文、合、蟻

味、朝、秋、荒、有、充

當、開、明、鳴呼、飽津、荒城、朝

荒木、荒足、秋津、飽津、朝

入、飽田、飽等、阿白、青羽

在衣、有磯、秋沙、相市、蟻灰、明言

荒妙、足檜、葦引、新夜、秋

朝拍、朝拍、惡水木、蘆檜木、足

日本、味狹藍、阿跡念、朝月日

青丹吉、朝毛吉、萬草指

赤根刺、雨乍見、在果石

惡水山、味澤相、小豆無

年魚市方、戲書山下、下風、阿下

類、治、年魚市方、戲書山下、下風、阿下

吹者和名抄云嵐山下出風也... 意多し書も又畧て阿との書り下下風と云れ...

伊部

正音 伊 己 異 移 畧音 印

正訓 寢 寐 宿 眠 去

行 儻 石 氣 妹 率 何 疾 勞

及 息 壽 大 忌 幾 幸 鬱 誰 疾 勞

汝 鎮 齋 齋 忌 幾 幸 鬱 誰 疾 勞

門 禱 往 伊 往 軍 士 軍 卒 忌 日

勇 魚 奈何 幾 許 如何 如何 班 鳩 古 昔 嘶

音 卒 爾 灼 然 石 走 磐 走 石 激 弟 孀

家 門 義 訓 要 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

痛 益 哀 鳴 蓋 穢 屋

率去イサ、不聽イナ、不欲イナ、不許イナ、不言イナ、
率イサ、去イサ、不聽イナ、雖謂イナ、不欲イナ、常イナ、不許イナ、者イナ、不言イナ、
常將言可聞イナ、

齋禮イハヒ、齋祈イハヒ、隱藏イハフ、鯨魚イサナ、重石イカリ、
齋イハヒ、禮イハヒ、齋イハヒ、祈イハヒ、隱藏イハフ、鯨魚イサナ、重石イカリ、

儀廻イカリ、灣廻イカリ、歸者イナバ、不語イハズ、語之イヒシ、
儀イカリ、廻イカリ、灣イカリ、廻イカリ、歸者イナバ、不語イハズ、語之イヒシ、

廬作イホリ、而見者イホリ、何方イカサマ、無用イダツラ、御駕イデマシ、煙寸イフセキ、
廬イホリ、作イホリ、而見者イホリ、何方イカサマ、無用イダツラ、御駕イデマシ、煙寸イフセキ、

答久イヘラク、妹許イモカリ、妹所イモカリ、汨潭イリブナ、石葛イハツナ、何イツカ、
答イヘラク、久イヘラク、妹許イモカリ、妹所イモカリ、汨潭イリブナ、石葛イハツナ、何イツカ、

畢イヘラク、滿言イヘラク、不得言イヘラク、將御在イマサマ、珠水激イハツル、端イツク、
畢イヘラク、滿言イヘラク、不得言イヘラク、將御在イマサマ、珠水激イハツル、端イツク、

正爾イヘラク、寐者不眠友イハ、畧訓イヘラク、五イヘラク、磐イハ、
正爾イヘラク、寐者不眠友イハ、畧訓イヘラク、五イヘラク、磐イハ、

余イヘラク、石村イハレ、借訓射イヘラク、石イハ、石椅イハセ、
余イヘラク、石村イハレ、借訓射イヘラク、石イハ、石椅イハセ、

稻イヘラク、吾イヘラク、金イヘラク、愠イヘラク、五十イヘラク、石イハ、
稻イヘラク、吾イヘラク、金イヘラク、愠イヘラク、五十イヘラク、石イハ、

出見イヘラク、何太イヘラク、將行イヘラク、射去イヘラク、
出見イヘラク、何太イヘラク、將行イヘラク、射去イヘラク、

稻見イヘラク、石相イヘラク、五柴イヘラク、去家イヘラク、言イヘラク、
稻見イヘラク、石相イヘラク、五柴イヘラク、去家イヘラク、言イヘラク、

借イヘラク、磐金イヘラク、石金イヘラク、氣衝イヘラク、石走イヘラク、齋イヘラク、
借イヘラク、磐金イヘラク、石金イヘラク、氣衝イヘラク、石走イヘラク、齋イヘラク、

戸イヘラク、市白イヘラク、稻目イヘラク、五百入イヘラク、伊積流イヘラク、
戸イヘラク、市白イヘラク、稻目イヘラク、五百入イヘラク、伊積流イヘラク、

石迹拍イヘラク、不知魚取イヘラク、五十羽早イヘラク、不知代經イヘラク、
石迹拍イヘラク、不知魚取イヘラク、五十羽早イヘラク、不知代經イヘラク、

聲イヘラク、山上復有山イヘラク、戲書馬イヘラク、
聲イヘラク、山上復有山イヘラク、戲書馬イヘラク、

字部

正音 字ウ、于ウ、有ウ、鳥ウ、汗ウ、羽ウ、畧音 雲ウ、
正音 字ウ、于ウ、有ウ、鳥ウ、汗ウ、羽ウ、畧音 雲ウ、

七は雲飛と訓るハ集中ハ珍なりぬ漢字ハかなり
 ちの類ニ和名抄大和地名雲梯と宇奈天と訓り

正訓

占 津守之、亦四
 足ト平曾為之

味 一、酒、呼
 浮 一、船、而、泛

格 一、相、良思吉格ハ鬪撃の意を得て去りし也又相格とありふとも訓る集中ハ多
 而(十)同 訓る所多ク相の字を加へり又格とありふとも用ひハ卷十六指生格競などとも訓る
 楸 一、手折

敲 一、自、末 七、葦、葉 二、表 五、荷、滅 九、家、一、諾 六、己曾、權 八、有麻、娛 三、有家礼
 子九、登、現 十、毛 一、心 一、如此毛 唱 一、愛 四、見 四、夫、若末 十、小松、之、長、何、怜

歡 十、可、物、現 十、毛 一、心 一、如此毛 唱 一、愛 四、見 四、夫、若末 十、小松、之、長、何、怜
 一、國曾神代紀ハ可憐ハ汀をうほしと訓る依より又あまらるる訓も其
 音連与隣同字書何の字ハ可憐の字に依て何とあまらるるの字ハ

馬柵 一、親族 三、兄弟、四月 一、五月 一、現前 一、移徙 一、占相 一、窺

海界 一、嘯鳴 一、慨哉 一、纓有 一、神代紀 嬰頭之
 良布 一、義訓 下 一、於 一、泊 一、厭 一、水鳥 一、

童女 一、柁 一、将播 一、免原 一、移變 一、
 色登 一、落易 一、肥人 一、相有 一、畧訓 一、諾 一、約訓 一、打棄 一、
 薄往者 一、借訓 一、得 一、卵 一、免 一、裏 一、占 一、
 知須の約 一、悲毛 一、経居浦 一、裏の借、轉、人、の、心、也、と、も、多、く、又、う、ろ、と、と、並、み、
 狂、重、な、た、ひ、あり、浦、佐、夫、流、情、佐、未、祢、之、な、も、類、又、四、若、見、十、浅、茅、何、兼、此、亦、
 卜 一、歎、居、者、已、一、懈 一、得、管 一、卵、管 一、庭、打、乍 一、打、四 一、得、干 一、
 打布 一、受、日 一、空、蟬 一、乃、打、蟬 一、虚 一、
 将、去、所 一、免、楸 一、轉、一、項、者、古、事、記、猶、其、惡、事、不、立、而 一、空、蟬 一、乃、打、蟬 一、
 浮、飲、一、

良布 一、義訓 下 一、於 一、泊 一、厭 一、水鳥 一、
 童女 一、柁 一、将播 一、免原 一、移變 一、
 色登 一、落易 一、肥人 一、相有 一、畧訓 一、諾 一、約訓 一、打棄 一、
 薄往者 一、借訓 一、得 一、卵 一、免 一、裏 一、占 一、
 知須の約 一、悲毛 一、経居浦 一、裏の借、轉、人、の、心、也、と、も、多、く、又、う、ろ、と、と、並、み、
 狂、重、な、た、ひ、あり、浦、佐、夫、流、情、佐、未、祢、之、な、も、類、又、四、若、見、十、浅、茅、何、兼、此、亦、
 卜 一、歎、居、者、已、一、懈 一、得、管 一、卵、管 一、庭、打、乍 一、打、四 一、得、干 一、
 打布 一、受、日 一、空、蟬 一、乃、打、蟬 一、虚 一、
 将、去、所 一、免、楸 一、轉、一、項、者、古、事、記、猶、其、惡、事、不、立、而 一、空、蟬 一、乃、打、蟬 一、
 浮、飲、一、

良布 一、義訓 下 一、於 一、泊 一、厭 一、水鳥 一、
 童女 一、柁 一、将播 一、免原 一、移變 一、
 色登 一、落易 一、肥人 一、相有 一、畧訓 一、諾 一、約訓 一、打棄 一、
 薄往者 一、借訓 一、得 一、卵 一、免 一、裏 一、占 一、
 知須の約 一、悲毛 一、経居浦 一、裏の借、轉、人、の、心、也、と、も、多、く、又、う、ろ、と、と、並、み、
 狂、重、な、た、ひ、あり、浦、佐、夫、流、情、佐、未、祢、之、な、も、類、又、四、若、見、十、浅、茅、何、兼、此、亦、
 卜 一、歎、居、者、已、一、懈 一、得、管 一、卵、管 一、庭、打、乍 一、打、四 一、得、干 一、
 打布 一、受、日 一、空、蟬 一、乃、打、蟬 一、虚 一、
 将、去、所 一、免、楸 一、轉、一、項、者、古、事、記、猶、其、惡、事、不、立、而 一、空、蟬 一、乃、打、蟬 一、
 浮、飲、一、

蟬 (一) 之、毛 (三) 之、
之、已上、三、頭身、
鬱蟬 (三) 乃、鬱蟬 (四) 乃、乃已上二語音を借り義と同
内著 (五) 王君、打著、
氏

河 (一) 八十、尔、七
牛吐 (六) 掃神、賜 (九) 牛、
歌方 (五) 空像の意よて和名抄沫雨と多し註、雨潦上沫起若覆盆云

味凝 (一) 味凍 (六) 二語美綴
打榜 (五) 美細布、
徒心 (五) 哉、
寫心 (七) 紅之、
得飼 (七) 上二語頭心

飯 (四) 雖、
得田直 (五) 比、
免芽子 (十) 春野之、
打麻乎 (一) 十八為麗麻、

田價 (五) 打背貝 (五) 空
内日指 (二) 打日刺 (五) 久津已上麗日指、
命號貯 (五) 古事

馬下乃 (五) 戲書 (五) 不所 (八) 此日可開本の所、
命號貯 (五) 記、

須と同韻、
命号の字を多し、
命令二字うなむと訓と借り貯、
貯の義

衣部

正音 衣 (一) 依 (一) 畧音 叡 (五) 曳 (五) 要 (二) 延 (五) 愛 (五) 正
依 (一) 志、
叡 (五) 伊、
曳 (五) 伊、
要 (二) 伊、
延 (五) 伊、
愛 (五) 伊、

訓 江 (三) 藤、
得 (三) 難、
枝 (三) 五、
吉 (三) 直、
課役 (六) 微、
義訓所

擇擢 (五) 借訓得 (三) 榎 (六) 柄 (三) 兄 (一) 百

吉 (一) 住、
之、江、

於部

正音 於 (一) 意 (五) 飲 (四) 畧音 憶 (五) 應 (五) 正訓
於 (一) 意 (五) 飲 (四) 乃、
憶 (五) 保、
應 (五) 氣、

臣 (三) 自 (四) 已 (三) 母 (三) 凡 (六) 疎 (一) 王 (七)

祖 (三) 衿 (九) 聲 (一) 奥 (三) 太 (七) 王 (七)

憶 (一) 意 (六) 指 (八) 恊 (二) 鈍 (三) 念 (五) 皇 (三) 王 (七)

鬱 (四) 父 (三) 乳 (五) 母 (五) 御座 (十) 各 (一)

諒 懼(一)母(五) 畏(一)命、美(一) 葛(一)狹名、(三)玉、 豫(一)知勢婆(三)、將來としよう(カヘリ) 反(一)土、(二)詞ニ

為見 飄(一)神(十) 都(四)毛不知(五)、不止来 辨冲云都(史)てり意と以紀(史)と訓(史) 楓(四)如(七)若、木和 縵(一)

神(四)家武毛恐(ハ) 香(五)憐(三)綾(五) 擾(五)字書代也(史)ゆ擾 斜(十)月(カ) 水手(四)之音喚

鹿子(七)曾呼成鹿子 神祇(三)七(傳) 步行(五) 如此(三)許(四) 如是(三)故

往還(八)伊(一) 往來(六)蟻(十)垣(一) 挿頭(一)花(持)花折(一) 頭刺(八)不

櫻皮(六)纏和 裝束(一)奉而(解)ま(史)訓(史)と巻(史) 返却(四)持(一) 河蝦(六)移

養蚕(三)母我(一)乃(中)尔(和)名 香山(三)之(土)、尔(日本) 語言(四)綴

相語(一)而遣都 行宮(一)不干(九) 悲哀(三)情(カ) 十月(一)同(一) 皇祖神(三)皇統の神と

申(又)前(の)御代(と)も(さ)り(奉)九 将(カ) 還(ラ) 来(ヒ) 日(一) 義(カ) 訓(一) 疑(一) 陰(カ) 将(一) 此(一) 願(一) 如(一) 霜(一)

冀(一)常丹(四)念(一) 削(一)眉(カ) 關(一)之(宜) 関(一)鍵(一) 鑰(一) 許(一)妹(一)登(一) 所(一)妹(一)等(一) 干(一)若(一)波

乾(一)浦(一)落(一)合(一) 蘇(一)都(一)伎(一)而(一)林(一)合(一)意(一)と(一)多(一)和(一)名(一)抄(一) 誼(一) 謂(一)告(一) 窄(一)木(一) 漬(一)鴨(一)矣

炎(一)野(一)如(一)常(一) 不得(三)傳(一)而(一)有(一) 得(一)勝(一) 有(一)不(一) 疑(一)意(一) 十月(一)君(一)者(一)干(一)零(一)之(一)雪(一)

欲成(四)雲(一) 欲得(三)手(一)毛(一) 芍(一)除(一) 曾(一)氣(一)二(一)字(一)餘(一) 擢(一)合(一) 名(一)抄(一)在(一)旁(一)擢(一)曰(一)擢(一)亦

春(一)日(一) 意(一)姓(一)氏(一)録(一) 入(一)潮(一) 駟(一)芳(一)山(一) 天(一) 高(一)山(一) 波(一)正(一) 香(一)具

蜻(一)火(一) 珠(一)蜻(一) 玉(一)蜻(一) 不(一)去(一) 不(一)改(一) 將(一)在(一)

香(一)鳥(一) 如(一)是(一) 芍(一)嫌(一) 隱(一)障(一) 倍(一)之(一) 浪(一) 河(一)次(一) 川(一)次(一)之(一) 神(一)

カクロキ 字ハ假字ナリ 香鳥(七) 髪香の 如(カ) 是(カ) 芍(カ) 嫌(七) 細竹 隱(カ) 障(二) 倍(セ) 之(シ) 浪(シ) 河(カ) 次(六) 川(六) 次(六) 之(六) 神(カ) 三

成 (一) 神大聖... (二) 神大聖... (三) 神大聖... (四) 神大聖... (五) 神大聖... (六) 神大聖... (七) 神大聖... (八) 神大聖... (九) 神大聖... (十) 神大聖...

遍來 (一) 適夜の... (二) 適夜の... (三) 適夜の... (四) 適夜の... (五) 適夜の... (六) 適夜の... (七) 適夜の... (八) 適夜の... (九) 適夜の... (十) 適夜の...

誑良比 (一) 誑相... (二) 誑相... (三) 誑相... (四) 誑相... (五) 誑相... (六) 誑相... (七) 誑相... (八) 誑相... (九) 誑相... (十) 誑相...

左毛右毛 (一) 左毛... (二) 左毛... (三) 左毛... (四) 左毛... (五) 左毛... (六) 左毛... (七) 左毛... (八) 左毛... (九) 左毛... (十) 左毛...

約訓 搔上 (一) 搔上... (二) 搔上... (三) 搔上... (四) 搔上... (五) 搔上... (六) 搔上... (七) 搔上... (八) 搔上... (九) 搔上... (十) 搔上...

彼方 (一) 彼方... (二) 彼方... (三) 彼方... (四) 彼方... (五) 彼方... (六) 彼方... (七) 彼方... (八) 彼方... (九) 彼方... (十) 彼方...

此有 (一) 此有... (二) 此有... (三) 此有... (四) 此有... (五) 此有... (六) 此有... (七) 此有... (八) 此有... (九) 此有... (十) 此有...

異所 (一) 異所... (二) 異所... (三) 異所... (四) 異所... (五) 異所... (六) 異所... (七) 異所... (八) 異所... (九) 異所... (十) 異所...

入 (一) 入... (二) 入... (三) 入... (四) 入... (五) 入... (六) 入... (七) 入... (八) 入... (九) 入... (十) 入...

借訓 鹿 (一) 鹿... (二) 鹿... (三) 鹿... (四) 鹿... (五) 鹿... (六) 鹿... (七) 鹿... (八) 鹿... (九) 鹿... (十) 鹿...

早 (一) 早... (二) 早... (三) 早... (四) 早... (五) 早... (六) 早... (七) 早... (八) 早... (九) 早... (十) 早...

漢 (一) 漢... (二) 漢... (三) 漢... (四) 漢... (五) 漢... (六) 漢... (七) 漢... (八) 漢... (九) 漢... (十) 漢...

容 (一) 容... (二) 容... (三) 容... (四) 容... (五) 容... (六) 容... (七) 容... (八) 容... (九) 容... (十) 容...

敢 (一) 敢... (二) 敢... (三) 敢... (四) 敢... (五) 敢... (六) 敢... (七) 敢... (八) 敢... (九) 敢... (十) 敢...

香 (一) 香... (二) 香... (三) 香... (四) 香... (五) 香... (六) 香... (七) 香... (八) 香... (九) 香... (十) 香...

日 (一) 日... (二) 日... (三) 日... (四) 日... (五) 日... (六) 日... (七) 日... (八) 日... (九) 日... (十) 日...

干 (一) 干... (二) 干... (三) 干... (四) 干... (五) 干... (六) 干... (七) 干... (八) 干... (九) 干... (十) 干...

辛 (一) 辛... (二) 辛... (三) 辛... (四) 辛... (五) 辛... (六) 辛... (七) 辛... (八) 辛... (九) 辛... (十) 辛...

柄 (一) 柄... (二) 柄... (三) 柄... (四) 柄... (五) 柄... (六) 柄... (七) 柄... (八) 柄... (九) 柄... (十) 柄...

息 (一) 息... (二) 息... (三) 息... (四) 息... (五) 息... (六) 息... (七) 息... (八) 息... (九) 息... (十) 息...

片 (一) 片... (二) 片... (三) 片... (四) 片... (五) 片... (六) 片... (七) 片... (八) 片... (九) 片... (十) 片...

刈標カキシラ、刺垣幡カキツバク、垣津幡カキツバク、借五百カキハコ、香切火カキキヒ、戲カキ

甘嘗備カミナベ、神名火カミナヒ、勝牡鹿カシカ、折木四哭カキガク、切木四泣カキガク、戲カキ

書青頭鷄カキエ、所聞多カキシラ、折木四哭カキガク、折木四泣カキガク、戲カキ

孟莊子造鏡載斷器と有四器の誤なり一鏡音わくと聞ゆればなり
のりを用ふるなりと云ふの句來繼皆石の字よと云ふに説畧解に幸猶可考

紀部

正音 紀キ、枳キ、企キ、伎キ、奇キ、綺キ、騎キ、妓キ

棄キ、忘キ、寄キ、鬼キ、疑キ、義キ、宜キ、祇キ

支キ、畧音巾キ、吉キ、藝キ、正訓木キ

有云四、道尔、樹キ、材キ、来キ、酒キ、城キ

之、高、乃山、流、衣、服、著、傘、霧

一、春、昨、限、所、聞、殺、前、争、諍、昨、日

社、義訓盖、不蒙、不穢、春、鳩、水、折、来

而、白氣、夫、君、不蒙、不穢、春、鳩、水、折、来

御來、衣服斜、畧訓割、牙、喫、来

怒、而、木、寸、霧、合、借、訓、来

一、良、人、木、寸、霧、合、借、訓、来

尔、之、六、遠、土、左、道、矣、和、名、砂、肥、前、郡、在、霧、寸、食、木、笑

被、梓、曾、乃、岐、と、訓、を、其、外、例、多、く、已、上、四、字、假、字、霧、寸、食、木、笑

城、國、聞、濱、戲、書、向、南

宜 (三) 宜 (六) 礙 (五) 蓋 (四) 正訓 毛 (三) 筭 (ケ)

食 (一) 御 (二) 向食 (三) 古言 (四) 異 (三) 弥日 (六) 二月 (二) 情 (平)

殊 (十) 田 (葛葉日) 王 (月日) 今且 (八) 零 (四) 今日 (一) 香 (越等) 今朝 (土) 義訓

日 (四) 朝 (二) 爾 (二) 日 (二) 將 (三) 復 (見鴨) 舟 (乘) 為 (此字集中多) 炎 (三) 火氣 (三) 盛 (三)

且今日且今日 (一) 音待君者 (九) 約訓 消 (一) 者 (倍久) 者 (持惜) 火用

借訓 異 (四) 思 (目鴨) 毛 (四) 保 (村) 友 (七) 名 (伎) 來 (二) 外 (向) 集 (中) 計 (里) 假 (守) 多 (用) 又 (良) 利

在 (七) 黃 (葉) 為 (ケ) 有 (一) 苦 (此二字集中多) 利 (假守) 用 (い) 九 (上) 字 (計) 兼 (一) 所 (食)

險 (七) 古 (有) 入 (ケ) 監 (一) 待 (入) 者 (三) 妹 (見) 鴨 (七) 有 (一) 兼 (一) 所 (食)

古部

正音 古 (三) 胡 (一) 枯 (一) 巨 (一) 孤 (一) 許 (一) 故 (三) 去 (一) 姑 (一) 波

虛 (二) 知 (期) 知 (ケ) 居 (九) 根 (毛) 枯 (五) 多 (ケ) 庫 (三) 武 (乃) 海 (一) 吳 (一) 吾 (一) 後 (一) 畧

音興 凝 (三) 木 (數) 黑 (四) 馬 (之) 來 (三) 其 (三) 期 (一) 基 (一) 已 (知) 虞 (一) 高 (一) 湍 (一)

正訓 木 (三) 妹 (枕) 樹 (三) 下 (隱) 兒 (一) 菜 (採) 須 (一) 子 (一) 高 (照) 目 (之) 皇 (一) 此 (一) 巨

是 (一) 此 (也) 能 (ケ) 來 (一) 立 (見) 爾 (之) 艾 (一) 耳 (心) 音 (三) 毛 (不) 更 (四) 夏 (可) 掉 (一) 米 (船) 如 (一) 間

腰 (三) 爾 (奈) 都 (美) 別 (三) 避 (者) 不 (成) 樹 (一) 七 (渡) 香 (一) 塗 (流) 式 (忌) 情 (一) 妹 (下) 神 (一) 聰

霖 (三) 曾 (保) 零 (知) 名 (霖) 家 (の) 服 (三) 藤 (三) 臣 (九) 妹 (之) 勢 (流) 夫 (良) 武 (一) 悉 (一) 木 (一) 袖 (七) 吾 (者) 九 (一) 衣 (一) 不 (干)

戀 (十) 多 (埤) の (字) 故 (四) 此 (間) (一) 羊 (單) 聞 (一) 子 (産) (五) 驚 (曾) 此 (所) (一) 誰 (一) 殊 (異) (一) 野 (者) 東 (一) 野 (者)

風 (土) 朝 (一) 爾 (十) 朝 (一) 爾 (副) 而 (之) の (ら) 去 (年) (三) 見 (而) 之 (八) 霖 (一) 七 (今) 日 (之) 零 (一) 皆 (悉) (一) 吾

幾許(三) 貴子 今代(三) 今世 現世(四) 現世 来生(三) 来生 衣服(七) 衣服

樹村(三) 和名抄本技 今夜(一) 今夜 今夕(五) 今夕 薛生(七) 薛生

比者(三) 比者 項者(四) 項者 迺者(十) 迺者 日來(十) 日來 臥有(三) 臥有 偃有(九) 偃有

衣袖(三) 衣袖 衣袂(三) 衣袂 所噴(十) 所噴 不語(三) 不語 蟋蟀(八) 蟋蟀 展轉(十) 展轉

反側(三) 反側 駐馬(三) 駐馬 牡牛(九) 牡牛 義訓(四) 義訓 乞(七) 乞 欲(五) 欲 社(十) 社

有欲得(九) 有欲得 水手(七) 水手 榜手(三) 榜手 答響(十) 答響 景迹(十) 景迹

敷(三) 敷 言多(十) 言多 自伏(三) 自伏 深染(七) 深染 心神(三) 心神 精神(三) 精神 凝(三) 凝

畧訓(四) 畧訓 起(四) 起 木末(七) 木末 戀痛(三) 戀痛 借訓(一) 借訓 籠(四) 籠 粉(六) 粉

四時(四) 四時 兒(三) 兒 木(六) 木 子(一) 子 小(三) 小 乞(一) 乞 事(十) 事 朱(十) 朱

超(十) 超 有(十) 有 木盛(六) 木盛 木積(三) 木積 乞痛(三) 乞痛 不寒(三) 不寒 極此(三) 極此

幾許(三) 貴子 今代(三) 今世 現世(四) 現世 来生(三) 来生 衣服(七) 衣服
 樹村(三) 和名抄本技 今夜(一) 今夜 今夕(五) 今夕 薛生(七) 薛生
 比者(三) 比者 項者(四) 項者 迺者(十) 迺者 日來(十) 日來 臥有(三) 臥有 偃有(九) 偃有
 衣袖(三) 衣袖 衣袂(三) 衣袂 所噴(十) 所噴 不語(三) 不語 蟋蟀(八) 蟋蟀 展轉(十) 展轉
 反側(三) 反側 駐馬(三) 駐馬 牡牛(九) 牡牛 義訓(四) 義訓 乞(七) 乞 欲(五) 欲 社(十) 社
 有欲得(九) 有欲得 水手(七) 水手 榜手(三) 榜手 答響(十) 答響 景迹(十) 景迹
 敷(三) 敷 言多(十) 言多 自伏(三) 自伏 深染(七) 深染 心神(三) 心神 精神(三) 精神 凝(三) 凝
 畧訓(四) 畧訓 起(四) 起 木末(七) 木末 戀痛(三) 戀痛 借訓(一) 借訓 籠(四) 籠 粉(六) 粉
 四時(四) 四時 兒(三) 兒 木(六) 木 子(一) 子 小(三) 小 乞(一) 乞 事(十) 事 朱(十) 朱
 超(十) 超 有(十) 有 木盛(六) 木盛 木積(三) 木積 乞痛(三) 乞痛 不寒(三) 不寒 極此(三) 極此

疑疑、粉枯(下)、越道(有巨勢)、事負(之牡牛)、事痛(者、言痛)、隱來、
 一、國乃、隱處(水之處)、戀鑽(吾意)、琴酒(若)、戲書(毛人髮)
 三、繁三、言痛、敏達紀の註、大毛人と有八坂夷のりなり
 毛の多し、借り、敏達紀の註、大毛人と有八坂夷のりなり

左部

正音 左(一)、佐(二)、沙(三)、紗(四)、作(五)、者(六)、社(七)、射(八)
 一、可、之、多、里、家、利、
 二、登、七、加、左、受、
 三、可、之、多、里、家、利、
 四、登、七、加、左、受、

草(五)、手思、奈久、積(安)、相樂(三)、山乃、和名抄、郡名、佐如、良如、有
 續記、樂と良幾、あり、此二字音なり
 一、吾若不、落此字、集中、佐志、須世と活用、
 二、吾若不、落、
 三、吾若不、落、
 四、吾若不、落、

前(一)、磯(二)、割(三)、障(四)、塞(五)、閉(六)、埼(七)、離(八)
 一、磯、
 二、割、
 三、障、
 四、塞、
 五、閉、
 六、埼、
 七、離、

津者、駿(四)、明(九)、亮(十)、幸(九)、福(七)、盛(七)、令(一)、
 一、津者、
 二、駿、
 三、明、
 四、亮、
 五、幸、
 六、福、
 七、盛、
 八、令、

候(六)、侍候(三)、侍從(二)、三枝(五)、酒杯(七)、小浪(三)、
 一、候、
 二、侍候、
 三、侍從、
 四、三枝、
 五、酒杯、
 六、小浪、

賢良(三)、懸有(五)、耳言(七)、小浪(三)、
 一、賢良、
 二、懸有、
 三、耳言、
 四、小浪、

雖(五)、五十戸長(五)、義訓(四)、
 一、雖、
 二、五十戸長、
 三、義訓、

共(七)吾、所治名、
共(七)吾、所治名、
共(七)吾、所治名、
共(七)吾、所治名、
共(七)吾、所治名、
共(七)吾、所治名、
共(七)吾、所治名、
共(七)吾、所治名、
共(七)吾、所治名、
共(七)吾、所治名、

追出、生、
追出、生、
追出、生、
追出、生、
追出、生、
追出、生、
追出、生、
追出、生、
追出、生、
追出、生、

颯(三)池、江乃、
颯(三)池、江乃、
颯(三)池、江乃、
颯(三)池、江乃、
颯(三)池、江乃、
颯(三)池、江乃、
颯(三)池、江乃、
颯(三)池、江乃、
颯(三)池、江乃、
颯(三)池、江乃、

神樹(四)、
神樹(四)、
神樹(四)、
神樹(四)、
神樹(四)、
神樹(四)、
神樹(四)、
神樹(四)、
神樹(四)、
神樹(四)、

刺雲(七)、刺、
刺雲(七)、刺、
刺雲(七)、刺、
刺雲(七)、刺、
刺雲(七)、刺、
刺雲(七)、刺、
刺雲(七)、刺、
刺雲(七)、刺、
刺雲(七)、刺、
刺雲(七)、刺、

將關哉、
將關哉、
將關哉、
將關哉、
將關哉、
將關哉、
將關哉、
將關哉、
將關哉、
將關哉、

真玉葛、
真玉葛、
真玉葛、
真玉葛、
真玉葛、
真玉葛、
真玉葛、
真玉葛、
真玉葛、
真玉葛、

不問有之、
不問有之、
不問有之、
不問有之、
不問有之、
不問有之、
不問有之、
不問有之、
不問有之、
不問有之、

五月蠅、
五月蠅、
五月蠅、
五月蠅、
五月蠅、
五月蠅、
五月蠅、
五月蠅、
五月蠅、
五月蠅、

佐青、
佐青、
佐青、
佐青、
佐青、
佐青、
佐青、
佐青、
佐青、
佐青、

借訓狹、
借訓狹、
借訓狹、
借訓狹、
借訓狹、
借訓狹、
借訓狹、
借訓狹、
借訓狹、
借訓狹、

禁、
禁、
禁、
禁、
禁、
禁、
禁、
禁、
禁、
禁、

積、
積、
積、
積、
積、
積、
積、
積、
積、
積、

尺、
尺、
尺、
尺、
尺、
尺、
尺、
尺、
尺、
尺、

作樂、
作樂、
作樂、
作樂、
作樂、
作樂、
作樂、
作樂、
作樂、
作樂、

指進、
指進、
指進、
指進、
指進、
指進、
指進、
指進、
指進、
指進、

散釣相、
散釣相、
散釣相、
散釣相、
散釣相、
散釣相、
散釣相、
散釣相、
散釣相、
散釣相、

刺名、
刺名、
刺名、
刺名、
刺名、
刺名、
刺名、
刺名、
刺名、
刺名、

熊、
熊、
熊、
熊、
熊、
熊、
熊、
熊、
熊、
熊、

戲書、
戲書、
戲書、
戲書、
戲書、
戲書、
戲書、
戲書、
戲書、
戲書、

子ハ必セ云々事神功紀の歌ハ多ク神樂声と多ク訓ハ感訓ありと神樂と
畧一又樂との略セ山下出風と下風との略セ如く近江志賀郡條摩の地名

志部

正音 志(一) 思(一) 之(一) 四(一) 三(一) 師(一) 斯(一) 子(一)
志(一) 如(一) 知(一) 火(一) 四(一) 吾(一) 妹(一) 師(一) 斯(一) 子(一)
字書一宇字と二宇に多ク誤る

指(四) 此(十) 紫(五) 司(十) 詩(六) 死(二) 指(四) 此(十) 紫(五) 司(十) 詩(六) 死(二)
其(五) 具(一) 志(一) 零(一) 者(一) 高(一) 河(一) 野(一) 之(一) 大(一) 之(一)
所殺鴨 侍(九) 肯(三) 次(十) 趾(十) 詞(十) 緇(十) 德(十) 死(二)

事(大) 和(レ) 礼(レ) 乎、於(レ) 毛(レ) 波(レ) 婆(レ) 水(九) 自(一) 慈(五) 寺(十) 士(三) 事(大) 和(レ) 礼(レ) 乎、於(レ) 毛(レ) 波(レ) 婆(レ) 水(九) 自(一) 慈(五) 寺(十) 士(三)

時(二) 畧音 信(三) 新(一) 進(三) 盡(三) 式(三) 正訓 爲(一) 標(一) 野行(二) 結(三) 吾(九) 將(三) 爲(三) 跡(三) 標(一) 野行(二) 結(三) 吾(九) 將(三) 爲(三) 跡(三) 標(一)

潮(一) 數(三) 及(三) 思(三) 德(三) 不(三) 慕(四) 隱(五) 沈(七) 委(七) 靡(十) 終(十) 表(十) 瑞(十) 潮(一) 數(三) 及(三) 思(三) 德(三) 不(三) 慕(四) 隱(五) 沈(七) 委(七) 靡(十) 終(十) 表(十) 瑞(十)

小竹(一) 下枝(七) 數(七) 小螺(六) 真珠(六) 垂柳(十) 愚(十) 行(二) 爲(十) 垂柳(十) 義訓 所(一) 跡(一) 小竹(一) 下枝(七) 數(七) 小螺(六) 真珠(六) 垂柳(十) 愚(十) 行(二) 爲(十) 垂柳(十) 義訓 所(一) 跡(一)

所殺(一) 不知(一) 鹿猪(三) 楚樹(一) 片時(十) 須臾(十) 所殺(一) 不知(一) 鹿猪(三) 楚樹(一) 片時(十) 須臾(十)

灼發(十) 十二月(八) 隱不得(十) 不竊隱(十) 所知(十) 灼發(十) 十二月(八) 隱不得(十) 不竊隱(十) 所知(十)

爲(十) 垂柳(十) 義訓 所(一) 跡(一) 爲(十) 垂柳(十) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

義訓 所(一) 跡(一) 義訓 所(一) 跡(一)

無意形跡シテ定シテ男鹿カ雄鹿カ森徑シ寒水シ

安定ニ之萎シ雄鹿カ安美ニ益々シ

及ク繁森シ林始シ終命シ小動シ小歷木シ

白班奴シ不類面シ將御知シ

細竹目シ變白髮シ畧訓足シ

石シ約訓清水シ磯シ羊蹄シ

借訓知シ拭シ茂シ

敷シ布シ繁シ色シ重シ

然シ肉シ穴シ小竹シ

壯鹿シ鹿齒シ舌日シ四搓シ白土シ

胡粉シ為暮シ鐘禮シ四付シ師付シ石シ

著シ指南シ將死シ重見シ白不シ

白香シ敷布シ布布シ敷及シ死猿シ

白鳴シ白縫シ式島シ色妙シ思食シ思シ

櫃シ小篠生シ水長鳥シ石辛見シ

奈麻シ白鳴シ白縫シ式島シ色妙シ思食シ思シ

櫃シ小篠生シ水長鳥シ石辛見シ

櫃シ小篠生シ水長鳥シ石辛見シ

櫃シ小篠生シ水長鳥シ石辛見シ

用字

跡位浪 (一) 立(五)座、殿舎の席ハ事有時人々の位次より座と敷設
実串呂 (四) 繫刺ニ **戲**

書重二 (六) 生友奈ナ
 (五) 池、恨之、並二 (三) 名積叙
 (二) 初来、**十六** (三)、社者(六)、履起之四、
 の數より借塵借まり

數部

正音 周 (五) 酒 (九) 洲 (七) 奧津、ル、(六) 數 (九) 赤蒙 (五) 飛世、波、珠 (八) 波大須、才 (七) 須 (一) 已
 (一) 轉音 上三字 受 (一) 聚 (二) 授 (六) 畧音 寸 (七) 小簾之、鷄 (七) 正訓 栖 (一) 立去者 (六) 簣

爲 (三) 國見 (七) 簣 (七) 簣、所沽 (七) 小ノ、ノ、開通 (一) 引爲而此字集中 (一) 此、崎、爾 (一) 和名抄長 (三) 顧、(七) 裳 (七) 浴 (三) 不
 (一) 賜年 (四) 貫、 (四) 穿、 (一) 座 (一) 神酒 (一) 居 (三) 忌、 (三) 名、山、神名帳 (一) 形 (一) 殊、矣 (一) 君之、 (一) 食薦 (一) 君之、 (一) 皇祖神 (三)、 (一) 皇御

瀾 (一) 裳、所沽 (一) 座 (一) 神酒 (一) 居 (三) 忌、 (三) 名、山、神名帳 (一) 形 (一) 殊、矣 (一) 君之、 (一) 食薦 (一) 君之、 (一) 皇祖神 (三)、 (一) 皇御
 (一) 小 (一) 文、(一) 雲 (一) 冷 (一) 急、 (一) 光儀 (一) 君之、 (一) 容儀 (一) 君之、 (一) 食薦 (一) 君之、 (一) 皇祖神 (三)、 (一) 皇御

祖 (一) 義訓 下 (七) 赤蒙、 (一) 篤 (一) 水、(一) 意無、(一) 爲 (一) 便 (一) 將爲、不知已上二字 (一) 尚 (一) 柔
 (一) 帶乎、此ハ佐奈賀良ク言と約やりて其まじり (一) 同ト又摘てしをこれと心得てもとこ
 春たりんをちりしてふともありていり案登

畧訓 住 (一) 誰加 (一) 借訓 爲 (一) 旗須、才 (一) 酢 (一) 咲
 當音の近きによりて語さうさうその時と別へる名 乾糸 (三) 皮 渚 (一) 今他田、良之 (一) 吾忘 為、村 (一) 須輕 (九) 娘子之 (一) 酢、成野之 (一) 爲、如來雄畧紀ノ
 (一) 赤蒙之、 己上二語姿 己上二語終夜 己上二語終夜 己上二語終夜

世部
畧音 世 (一) 勢 (一) 西 (九) 齊 (一) 暫 (一) 是 (一) 通音
世部
 野なりし
 と云ふ

祖 (一) 義訓 下 (七) 赤蒙、 (一) 篤 (一) 水、(一) 意無、(一) 爲 (一) 便 (一) 將爲、不知已上二字 (一) 尚 (一) 柔
 (一) 帶乎、此ハ佐奈賀良ク言と約やりて其まじり (一) 同ト又摘てしをこれと心得てもとこ
 春たりんをちりしてふともありていり案登

畧訓 住 (一) 誰加 (一) 借訓 爲 (一) 旗須、才 (一) 酢 (一) 咲
 當音の近きによりて語さうさうその時と別へる名 乾糸 (三) 皮 渚 (一) 今他田、良之 (一) 吾忘 為、村 (一) 須輕 (九) 娘子之 (一) 酢、成野之 (一) 爲、如來雄畧紀ノ
 (一) 赤蒙之、 己上二語姿 己上二語終夜 己上二語終夜 己上二語終夜

世部
畧音 世 (一) 勢 (一) 西 (九) 齊 (一) 暫 (一) 是 (一) 通音
世部
 野なりし
 と云ふ

祖 (一) 義訓 下 (七) 赤蒙、 (一) 篤 (一) 水、(一) 意無、(一) 爲 (一) 便 (一) 將爲、不知已上二字 (一) 尚 (一) 柔
 (一) 帶乎、此ハ佐奈賀良ク言と約やりて其まじり (一) 同ト又摘てしをこれと心得てもとこ
 春たりんをちりしてふともありていり案登

畧訓 住 (一) 誰加 (一) 借訓 爲 (一) 旗須、才 (一) 酢 (一) 咲
 當音の近きによりて語さうさうその時と別へる名 乾糸 (三) 皮 渚 (一) 今他田、良之 (一) 吾忘 為、村 (一) 須輕 (九) 娘子之 (一) 酢、成野之 (一) 爲、如來雄畧紀ノ
 (一) 赤蒙之、 己上二語姿 己上二語終夜 己上二語終夜 己上二語終夜

世部
畧音 世 (一) 勢 (一) 西 (九) 齊 (一) 暫 (一) 是 (一) 通音
世部
 野なりし
 と云ふ

祖 (一) 義訓 下 (七) 赤蒙、 (一) 篤 (一) 水、(一) 意無、(一) 爲 (一) 便 (一) 將爲、不知已上二字 (一) 尚 (一) 柔
 (一) 帶乎、此ハ佐奈賀良ク言と約やりて其まじり (一) 同ト又摘てしをこれと心得てもとこ
 春たりんをちりしてふともありていり案登

畧訓 住 (一) 誰加 (一) 借訓 爲 (一) 旗須、才 (一) 酢 (一) 咲
 當音の近きによりて語さうさうその時と別へる名 乾糸 (三) 皮 渚 (一) 今他田、良之 (一) 吾忘 為、村 (一) 須輕 (九) 娘子之 (一) 酢、成野之 (一) 爲、如來雄畧紀ノ
 (一) 赤蒙之、 己上二語姿 己上二語終夜 己上二語終夜 己上二語終夜

世部
畧音 世 (一) 勢 (一) 西 (九) 齊 (一) 暫 (一) 是 (一) 通音
世部
 野なりし
 と云ふ

祖 (一) 義訓 下 (七) 赤蒙、 (一) 篤 (一) 水、(一) 意無、(一) 爲 (一) 便 (一) 將爲、不知已上二字 (一) 尚 (一) 柔
 (一) 帶乎、此ハ佐奈賀良ク言と約やりて其まじり (一) 同ト又摘てしをこれと心得てもとこ
 春たりんをちりしてふともありていり案登

正 (一) 妹之、香尔 (二) 靈 (三) 能 (四) 魂 (五) 親 (六) 相 (七) 發 (八) 霞 (九) 等 (十) 遍 (十一) 續紀の詔、此遍乃政明

有 (一) 乃、德 (二) 布、乃 (三) 領中乃、宜長云豐後風土記、抽扇卿此卿中、栲樹多生常取栲皮以造木綿、二

穀、栲と有、栲の豆の誤とを、栲角白栲 (七) 劍 (八) 鵠 (九) 高嶺 (十) 被給 (十一) 拷 (十二) 弱女 (十三) 猶預 (十四) 激 (十五) 手本

副 (一) 雁 (二) 頰 (三) 迴 (四) 高嶺 (五) 被給 (六) 拷 (七) 弱女 (八) 猶預 (九) 激 (十) 手本

田廬 (一) 爾、屈者 (二) 乃、丘 (三) 被給 (四) 拷 (五) 弱女 (六) 猶預 (七) 激 (八) 手本

狂言 (一) 手抱 (二) 手拱 (三) 經緯 (四) 犢鼻 (五) 平安 (六) 高照 (七) 高 (八) 高 (九) 高 (十) 高

漂蕩 (一) 紀 (二) 徘徊 (三) 携手 (四) 平安 (五) 高照 (六) 高 (七) 高 (八) 高 (九) 高 (十) 高

織女 (一) 手弱女 (二) 垂乳根 (三) 段 (四) 高 (五) 高 (六) 高 (七) 高 (八) 高 (九) 高 (十) 高

猶預不定 (一) 義訓 (二) 滿 (三) 段 (四) 高 (五) 高 (六) 高 (七) 高 (八) 高 (九) 高 (十) 高

運 (一) 轉 (二) 回 (三) 廻 (四) 細 (五) 細 (六) 細 (七) 細 (八) 細 (九) 細 (十) 細

不通 (一) 手回 (二) 去家 (三) 細布 (四) 懈 (五) 被 (六) 蒙 (七) 蒙 (八) 蒙 (九) 蒙 (十) 蒙

急 (一) 落墮 (二) 手祭 (三) 手酬 (四) 供養 (五) 建怒 (六) 建怒 (七) 建怒 (八) 建怒 (九) 建怒 (十) 建怒

高山 (一) 執手 (二) 淳有 (三) 谷潛 (四) 谷潛 (五) 谷潛 (六) 谷潛 (七) 谷潛 (八) 谷潛 (九) 谷潛 (十) 谷潛

信 (一) 姦女 (二) 幼婦 (三) 取持 (四) 他回 (五) 他回 (六) 他回 (七) 他回 (八) 他回 (九) 他回 (十) 他回

覆 (一) 輕引 (二) 疊有 (三) 攜拂 (四) 他回 (五) 他回 (六) 他回 (七) 他回 (八) 他回 (九) 他回 (十) 他回

手回 (一) 搓襠 (二) 幣嚮奉 (三) 不念恃 (四) 立住退 (五) 立住退 (六) 立住退 (七) 立住退 (八) 立住退 (九) 立住退 (十) 立住退

手回 (一) 搓襠 (二) 幣嚮奉 (三) 不念恃 (四) 立住退 (五) 立住退 (六) 立住退 (七) 立住退 (八) 立住退 (九) 立住退 (十) 立住退

手回 (一) 搓襠 (二) 幣嚮奉 (三) 不念恃 (四) 立住退 (五) 立住退 (六) 立住退 (七) 立住退 (八) 立住退 (九) 立住退 (十) 立住退

手回 (一) 搓襠 (二) 幣嚮奉 (三) 不念恃 (四) 立住退 (五) 立住退 (六) 立住退 (七) 立住退 (八) 立住退 (九) 立住退 (十) 立住退

千速振 (ナハヤフル) (七) 十早人紀は残賊強暴横悪之神とらるる
わき神と云ふものと荒振神の冠辭多と後云々て神のそと冠す

都部

都部

正音 都 (一) 通 (二) 豆 (三) 頭 (四) 畧音追 (一) 正訓津 (一) 嬬 (二) 隠有

日本紀此云菟摩とあり磯東 (一) 夫 (二) 朝 (三) 裏 (一) 家、為 (七) 為益緒
と云ふハ婦の誤多と云ふリ 良武 (十) 其、乃子我 初時の上下畧
るることと傳して包みぬと云ふ
へは贈る家よ持来すやちぬはへ

茵 (一) 花和名抄茵芋と仁豆と云ふ
訓とバ此ハ略して一字のちと云ふ
繩 (一) 顧為 (二) 意、不有者宜長云々此を為ながら彼をも為ると
引、且且の約束くると云ふ同安よ全の誤なりといふハあはれ

鳥翔 (二) 成翔ハ (一) 奉仕 (二) 御度、意と
得て奉の字を添ふ
集 (一) 神、屯 (二) 行、曲 (三) 椽 (七) 衣人者 (七) と和名抄
訓とバ此ハ略して一字のちと云ふ

突 (一) 馬曾、(四) 立而 (一) 海石榴 (七) 山、(一) 問、(五) 鴨頭草 (七) 丹、盡
三、吾馬爪衝、(七) 吾馬爪衝、(七) 山、(一) 問、(五) 鴨頭草 (七) 丹、盡

不得物 (一) 義訓川 (一) 安我ホ、君我川と云ふ例ハ集中此歌の
川ハ船の出入の所なれば入津の意なりと云ふ

婿 (一) 無公 (十) 文選注ハ伉儷謂妻と
有儷儷同音なりと通して用ゐんと云ふ
妹 (一) 遠、頭 (九) 大橋之、尔家有者天智
紀よりちの都梅のありけり

意、(一) 依氏、(一) 神、若競集同ト意
流、(一) 神、若競集同ト意

藏と云ふ、
同ト、
藏 (一) 玉藻、
倉、物と云ふ

不止 (一) 將通、(一) 見、略解
中、例れとて、例れとて、例れとて

所由無 (一) 由、縁、無
真、由、
約訓傳 (一) 介、良久、(一) 出、(一) 海、人、擄、良、志、(一) 己、(一) 借

訓津 (一) 虚見、(一) 鎮目、(一) 告、(一) 語、之、者、(一) 衝、(一) 安、礼、哉、(一) 氣、渡、(一) 葉、(一) 言、氣、(一) 侵、(一) 年、者、近、附、(一) 管、(一) 見

春 (一) 家、里、同、上、(一) 網、(一) 浦、之、網、と、云、ハ、古、言、(一) 妻、(一) 吹、風、(一) 鶴、(一) 相、見、鴨、(一) 釣、(一) 人、之、(一) 管、(一) 見

筒 (一) 見、(一) 意、年、(一) 雲、(一) 盡、(一) 筑、紫、(一) 月、日、(一) 朝、(一) 月、夜、(一) 朝、(一) 丸、暮、(一) 次、寸、(一) 取

續 (一) 管、仕、(一) 白、(一) 九、白、管、(一) 乍、自、(一) 石、(一) 七、同、已、(一) 管、木、(一) 之、原、和、(一) 月、草、(一) 同、鴨、頂、草、(一)

土針 (一) 王、孫、(一) 堤、有、(一) 海、(一) 爪、盡、(一) 馬、(一) 角、障、經、(一) 東、見、懸、而、(一)

都部

戲書 喚鷄 (八) 所見、本名(三十一)里、鷄也
呼、今ハハトト古ハハトト也
有撮掬

天部

畧音

低 (一) 低 (二) 氏 (三) 帝 (四) 底 (五) 堤 (六) 泥 (七) 提

庭

庭 (九) 髮多 (十) 塗 (十一) 天 (十二) 田 (十三) 代 (十四) 而 (十五) 光 (十六) 不

曜

曜 (十六) 十方 (十七) 畧訓 棄 (十八) 立 (十九) 借訓 直 (二十) 點 (二十一) 戲書 義之

手

手 (一) 押奈 (二) 照 (三) 點 (四) 戲書 義之

登部

正音

渡 (九) 河 (十) 度 (十一) 土 (十二) 畧音 登 (十三) 等 (十四) 刀 (十五) 騰 (十六) 藤 (十七)

斗

斗 (五) 美 (六) 禮 (七) 婆 (八) 得 (九) 特 (十) 杼 (十一) 正訓 戶 (十二) 門 (十三)

與

與 (一) 高 (二) 共 (三) 常 (四) 負 (五) 地 (六)

止

止 (六) 押 (七) 余 (八) 令 (九) 動 (十) 響 (十一) 非 (十二)

不

不 (七) 時 (八) 不 (九) 時 (十) 不 (十一) 時 (十二) 不 (十三) 時 (十四)

時

時 (八) 燒 (九) 火 (十) 乃 (十一) 燒 (十二) 燭 (十三) 有 (十四) 鋒 (十五) 扉 (十六) 急 (十七) 翔 (十八) 鄉 (十九) 音 (二十)

宴

宴 (九) 比 (十) 歲 (十一) 義 (十二) 訓 (十三) 速 (十四) 足 (十五) 水 (十六) 門 (十七) 爾 (十八) 雞 (十九) 鳴 (二十) 最 (二十一) 歌 (二十二) 同 (二十三) 歌 (二十四)

詭

詭 (九) 人 (十) 之 (十一) 時 (十二) 此 (十三) 遙 (十四) 閑 (十五) 離 (十六) 雞 (十七) 鳴 (十八) 最 (十九) 歌 (二十) 同 (二十一) 歌 (二十二)

時

時 (八) 燒 (九) 火 (十) 乃 (十一) 燒 (十二) 燭 (十三) 有 (十四) 鋒 (十五) 扉 (十六) 急 (十七) 翔 (十八) 鄉 (十九) 音 (二十)

宴

宴 (九) 比 (十) 歲 (十一) 義 (十二) 訓 (十三) 速 (十四) 足 (十五) 水 (十六) 門 (十七) 爾 (十八) 雞 (十九) 鳴 (二十) 最 (二十一) 歌 (二十二) 同 (二十三) 歌 (二十四)

詭

詭 (九) 人 (十) 之 (十一) 時 (十二) 此 (十三) 遙 (十四) 閑 (十五) 離 (十六) 雞 (十七) 鳴 (十八) 最 (十九) 歌 (二十) 同 (二十一) 歌 (二十二)

時

時 (八) 燒 (九) 火 (十) 乃 (十一) 燒 (十二) 燭 (十三) 有 (十四) 鋒 (十五) 扉 (十六) 急 (十七) 翔 (十八) 鄉 (十九) 音 (二十)

而^(六)寸^(六) 停息^(九) 馬之未^(九) 漁取^(五) 武奈伎^(九) 鶉^(三) 雉^(三) 履立此歌の上^(鹿猪) 不語^(三) 言各、ま

部よ^(一) 動々^(六) 宮^(三) 響動^(七) 令響^(八) 鷹獵^(七) 鳥獵^(七) 公

鷹田^(七) 為害目^(四) 賜名^(七) 左右^(七) 永世^(九) 留火^(三) 不定^(十) 時^(六) 鳥

不御問^(三) 御言、音^(三) 畧訓 跡^(一) 形見、曾來^(三) 常^(一) 好、言師^(三) 十^(三) 君不座、方

訓云^(二) 得難^(三) 為、^(三) 所見、物^(三) 登伊の約^(知あり) 跡云^(三) 聞、物曾^(吉) 等言^(一) 雪者落

常石^(七) 有常磐^(三) 成己上^(七) 鳥網^(三) 乃阿の約^(三) 聲^(四) 捥之、為^(六) 音^(四) 瓜引夜

借訓 砥^(三) 和須^(三) 利^(四) 常念弊^(四) 仕目、和名抄上野^(三) 礪^(三) 津宮地和

外^(十) 吾屋^(十) 生有屋^(一) 友^(二) 處女^(一) 者侶^(一) 背、乃外面^(三) 依目、^(三) 鞆^(三) 瀧者無^(七) 侶

事不問、^(七) 夜目見、^(七) 伴^(七) 相目、已^(七) 磨^(十) 待無時^(借字) 床^(六) 多吉能、磐乃^(三) 年^(四) 絶、云若

背、告自己^(一) 時齒^(七) 成^(七) 豊三^(七) 水底、^(七) 十尾^(八) 枝毛、^(二) 時敷^(三) 時、^(三) 依^(七) 齒

十縁皇子^(三) 殿雲流^(三) 夜^(三) 棚^(三) 戲書 二五^(三) 不知、寸許瀬を^(ハ助辞)

魚^(三) 勇、取^(三) 朝、夕菜^(古ハ魚) 不^(三) 取毛、見^(久) 哭^(一) 澤^(三) 瀾^(三) 立、^(三) 由^(四) 意ハ

者雖^(一) 勿^(一) 吾莫、久^(一) 無^(一) 息言、久^(二) 莫^(一) 知跡言^(久) 浪^(二) 汝^(四) 身社念^(三) 菜^(三) 魚^(三) 朝

正音 奈^(一) 那^(五) 畧音 難^(一) 南^(七) 男^(一) 乃^(四) 安波、^(三) 正訓 名^(一) 根^(三) 君、^(三)

家武由猶^(一) 何^(四) 鴨不^(見) 靡^(一) 楚樹^(ナ) 業^(八) 跡造有業^(ハ) 吟^(十) 八^(ハ) 響^(七) 神^(七) 若^(九)

鎬奈利加^(一) 夫良と有^(一) 未^(四) 相^(六) 泣^(六) 持^(六) 激^(三) 瀧^(三) 爾^(三) 隱^(一) 又大和の地吉隠も^(わ) ありと^(なり) たりと^(なり) たりと^(なり) 隠^(一)

通^(一) 家武由猶^(一) 何^(四) 鴨不^(見) 靡^(一) 楚樹^(ナ) 業^(八) 跡造有業^(ハ) 吟^(十) 八^(ハ) 響^(七) 神^(七) 若^(九)

鎬奈利加^(一) 夫良と有^(一) 未^(四) 相^(六) 泣^(六) 持^(六) 激^(三) 瀧^(三) 爾^(三) 隱^(一) 又大和の地吉隠も^(わ) ありと^(なり) たりと^(なり) たりと^(なり) 隠^(一)

通^(一) 家武由猶^(一) 何^(四) 鴨不^(見) 靡^(一) 楚樹^(ナ) 業^(八) 跡造有業^(ハ) 吟^(十) 八^(ハ) 響^(七) 神^(七) 若^(九)

鎬奈利加^(一) 夫良と有^(一) 未^(四) 相^(六) 泣^(六) 持^(六) 激^(三) 瀧^(三) 爾^(三) 隱^(一) 又大和の地吉隠も^(わ) ありと^(なり) たりと^(なり) たりと^(なり) 隠^(一)

通^(一) 家武由猶^(一) 何^(四) 鴨不^(見) 靡^(一) 楚樹^(ナ) 業^(八) 跡造有業^(ハ) 吟^(十) 八^(ハ) 響^(七) 神^(七) 若^(九)

この古語カズ一朝面を隠しよるも又

奈何

ナカニ、可来計武、其玉之、幾許

何如

如何

如何、為跡可、君之、思乎、

産業

水葱

波激

九月

能、雷神

七條

七夕

七種

中門

謂

勿謂、藻乃和名抄莫鳴菜、奈乃里曾と有

嘆息

連

中門

義訓

屯、而數、而副、而共

平

進

平城

將

又、見鴨、榜、別、遊、而、滯、此

穢

難

隨

同等

何物

至者

莫動

無禮

遮焉

同等

在隨

痛念

悲悽

无禮

遮焉

同等

意追

令煩

將比疑

畧訓七

同

戀水

動神

霹靂

同

去

嘆

鳴

並

在

雙

爾有

約訓

有

在

相

流相

長雨

霖雨

南

借訓

名

魚

莫

南

嘗

穿江

生

成

梨

哭

宣

去

成

成

成

成

成

去

成

成

成

成

成

去

成

成

成

成

成

去

成

成

成

成

成

去

成

成

成

成

成

去

成

成

成

成

成

○鳥之(七) 雉(六) 丹(七) 苗(七) 響(七) 吹(十) 難(言) 可(ナ) 將(カ) 嘆(カ) 吾(ワ) 哉(ニ) 如(ニ) 何(ニ) 音(ナ) 猶(ナ) 平(平) 城(城) 島(島)

○鷹(鷹) 渡(渡) 鳴(鳴) 生(生) 半(半) 靡(靡) 水(水) 葱(葱) 寧(寧) 樂(樂) 積(積) 積(積) 名(名) 積(積) 采(采)

○長(長) 柄(柄) 成(成) 有(有) 莫(莫) 死(死) 莫(莫) 積(積) 名(名) 積(積) 名(名) 積(積) 名(名) 積(積) 采(采)

○名(名) 草(草) 漏(漏) 武(武) 通(通) 入(入) 目(目) 而(而) 十(十) 意(意) 之(之) 尔(尔) 四(四) 名(名) 凝(凝) 名(名) 延(延) 名(名) 副(副) 名(名) 庭(庭) 乃(乃)

○夏(夏) 樛(樛) 夏(夏) 借(借) 波(波) 流(流) 經(經) 名(名) 乘(乘) 藻(藻) 奈(奈) 都(都) 炊(炊) 音(音) 名(名) 乘(乘) 敷(敷) 眺(眺) 懷(懷) 毛(毛) 無(無) 乃(乃) 立(立) 毛(毛) 無(無) 乃(乃) 立(立)

○名(名) 具(具) 絞(絞) 目(目) 天(天) 氣(氣) 留(留) 慰(慰)

○戲(戲) 書(書) 味(味) 試(試) 意(意) 度(度) 嘗(嘗) の(の) 字(字) と

○菜(菜) 名(名) 津(津) 匹(匹) 借(借) 之(之) 比(比) と 布(布) と 通(通) ず

○名(名) 豆(豆) 颯(颯) 奥(奥) 上(上) 都(都) と 布(布) と 通(通) ず

○名(名) 具(具) 絞(絞) 目(目) 天(天) 氣(氣) 留(留) 慰(慰)

○戲(戲) 書(書) 味(味) 試(試) 意(意) 度(度) 嘗(嘗) の(の) 字(字) と

○毛(毛) 無(無) 乃(乃) 立(立) 毛(毛) 無(無) 乃(乃) 立(立)

とある人の踏あつた地ハ草木の生るる意とあり漢文ハ草木をともすもの地をハリ

爾部

正音 爾(一) 二(二) 迹(三) 耳(四) 尼(五) 畧音 仁(一) 人(二) 柔(三) 柔(四) 柔(五)

正訓 養(一) 和(二) 荷(三) 似(四) 丹(五) 于(六)

相(一) 熟(二) 和(三) 柔(四) 新(五) 治(六) 和(七) 海(八) 藻(九)

庭(一) 立(二) 水(三) 義(四) 訓(五) 於(六) 而(七) 負(八) 金(九)

令(一) 艶(二) 色(三) 畧訓 去(一) 過(二) 伊(三) 等(四) 左(五) 夜(六) 深(七) 乘(八) 伊(九) 志(十) 畧(十一) 往(十二) 過(十三) 人(十四) 借(十五)

香(一) 庭(二) 立(三) 水(四) 義(五) 訓(六) 於(七) 而(八) 負(九) 金(十)

色(一) 葉(二) 絲(三) 色(四) 令(五) 黃(六) 應(七) 深(八)

令(一) 艶(二) 色(三) 畧訓 去(一) 過(二) 伊(三) 等(四) 左(五) 夜(六) 深(七) 乘(八) 伊(九) 志(十) 畧(十一) 往(十二) 過(十三) 人(十四) 借(十五)

訓 黃 (一) 常處女、手 (四) 煎 (二) 青、吉 (三) 荷 (一) 榜船、(三) 不相見故、(四) 似 (四) 妹、相武登 (七) 浪越、

庭 (一) 山常、(二) 神、座者 (三) 酒、有 (四) 新裳 (九) 之、如 (十) 丹覆 (十) 袖任、覆 (二) 尔太遙、(三) 丹頰合 (十) 之、妹者 (十一) 庭多

泉 (一) 庭多豆水、(二) 流、(三) 越賣又左可、(四) 庭多豆水、(五) 庭多豆水、(六) 庭多豆水、(七) 庭多豆水、(八) 庭多豆水、(九) 庭多豆水、(十) 庭多豆水、

奴部

正音 奴 (一) 努 (二) 怒 (三) 努 (四) 農 (五) 濃 (六) 野 (七) 沼 (八) 義

寐 (一) 思而、良武 (二) 獨香、良武 (三) 寐 (四) 寐 (五) 寐 (六) 寐 (七) 寐 (八) 寐 (九) 寐 (十) 寐

沾 (一) 通而、(二) 所濡 (三) 所濕 (四) 所漬 (五) 幣帛 (六) 連有 (七) 潤 (八) 義

訓 所 (一) 潤 (二) 潤 (三) 潤 (四) 潤 (五) 潤 (六) 潤 (七) 潤 (八) 潤 (九) 潤 (十) 潤

濕 (一) 跡、(二) 額拜 (三) 鳥珠 (四) 烏玉 (五) 黑玉 (六) 野干玉 (七) 漆 (八) 漆 (九) 漆 (十) 漆

畧訓 去 (一) 晚、(二) 之、(三) 如、(四) 年、(五) 乃、(六) 經、(七) 往 (八) 往 (九) 往 (十) 往

寐 (一) 不明毛有、(二) 宿 (三) 宿 (四) 宿 (五) 宿 (六) 宿 (七) 宿 (八) 宿 (九) 宿 (十) 宿

竊食 (一) 將盜、(二) 戲書 (三) 少熟 (四) 漆 (五) 漆 (六) 漆 (七) 漆 (八) 漆 (九) 漆 (十) 漆

禰部

畧音 年 (一) 禰 (二) 塗 (三) 尼 (四) 正訓 根

嶺 (一) 大島、(二) 峯 (三) 寐 (四) 寐 (五) 寐 (六) 寐 (七) 寐 (八) 寐 (九) 寐 (十) 寐

不 (一) 人社、(二) 泣 (三) 哭 (四) 喧 (五) 鳴 (六) 啼 (七) 啼 (八) 啼 (九) 啼 (十) 啼

管(九)耳鳴(己上五字)
奈久(七)傳(七)禮(七) 房(七)之(七) 懃(七)見(七) 合(七)歡(七)木(七)花(七)
祢布(八)利(八)則(八)和(八)名(八)抄(八)椿(八)布(八)里(八)乃(八)木(八)

有(七) 義訓 本(七)乃(七) 莫(七)人(七)棠(七) 慕(七)民(七)志(七)都(七) 極(七)太(七)懃(七)側(七)隱(七) 侍(七)人(七)之(七)徒(七)

極(七)太(七)甚(七) 側(七)隱(七) 不(七)勝(七)宿(七)者(七) 畧(七)訓 妙(七)之(七)意(七)雷(七) 懃(七)懃(七) 宿(七)與(七)殿(七)金(七) 懃(七)懃(七) 傳(七)人(七)之(七)徒(七)

慙(七)慙(七) 借訓 根(七)名(七)告(七)沙(七) 念(七)獨(七)鴨(七) 宿(七)與(七)殿(七)金(七) 懃(七)懃(七) 傳(七)人(七)之(七)徒(七)

能部

畧音 能(七)乃(七) 正訓 之(七)野(七) 言(七)謂(七)告(七) 詔(七)以後(七)

祈(七)禱(七) 祈(七)禱(七) 祈(七)禱(七) 祈(七)禱(七) 祈(七)禱(七) 祈(七)禱(七) 祈(七)禱(七) 祈(七)禱(七)

荷向(七) 義訓 覺(七)和(七) 借 法(七)

訓 笑(七) 寬(七) 乘(七) 法(七)

波部

正音 波(七)播(七) 破(七) 把(七) 畧音 盤(七) 磐(七)

伴(七) 判(七) 半(七) 幡(七) 方(七) 芳(七)

薄(七)泊(七) 藐(七) 八(七) 伐(七) 正訓 者(七) 羽(七)

葉(七) 妣(七) 倚(七) 正訓 者(七) 羽(七)

速(七) 泊(七) 延(七) 蔓(七) 早(七) 纒(七)

服(七) 延(七) 蔓(七) 早(七) 纒(七)

始(七) 當(七) 延(七) 蔓(七) 早(七) 纒(七)

極(七) 當(七) 延(七) 蔓(七) 早(七) 纒(七)

羽部

羽(七) 羽(七) 羽(七) 羽(七) 羽(七) 羽(七) 羽(七) 羽(七)

芽冬よのれは草を枯て春土
急 水尾、嘉 疾 風、松 愛 此ハハノ一キの上畧其詞とてうのふか多の故

放 九小、尔をを、
葬 神、此、
許 然、
芽子 野、乃、秋、
為當 一、也、今夜毛欽明紀集
後紀令集解等、少、引リ

赤土 七、宇陀乃真、
黄土 七、岸乃、
不著 難行、
解除 而益、
散之 思、紀、
徵者 夫、課、後、
驛路 士、

兄弟 親族、
蓮荷 亦、
小端 七、見、
端々 士、
隼人 三、之、
從元 四、羽

畏 九、吾子、
黄土粉 大、岸乃、
義訓經 六、打、而、經、
唐棣花色 天、武、紀、淨、位

淡 船、分、
神主 部、
鼻鳴 細、解、
長谷 三、寒、
暖來 平、

從來 九、
畧訓 早、
速 通、為、
石 七、十、破、
借訓 齒

羽 賀、欲、布、跡、
葉 四、慮、者、今、
幡 三、倭、文、乃、
捺 一、秋、野、能、
張 四、

橋 念、足、
墓 四、思、已、上、
黄土 十、孫、年、之、
始瀨 三、乃、山、
鼻火 十、

薄岳 霜、零、班、此、
翼酢 四、色、之、
母蘇 九、原、
羽計 三、伊、
齒隱 七、

針原 七、衣服、
箸向 九、
旗荒 十、
秦不經 十、
早敷哉 五、

井 七、
二十物 七、
我、
秦不經 十、
早敷哉 五、

端寸八為 六、
級寸八師 一、
戲書 四、
蠅 四、

比部

正音 比 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
非 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
悲 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
斐 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
婢 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
妣 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
毗 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
飛 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
臂 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

比部

比部

比部

比部

比部

比部

有肥(五)子加カ、肥(五)那我岐キ、備(一)鼻(一)多能、畧音賓(五)伊都夏等可、嬪(五)麻通羅、必

正訓(一)日(一)此、暮去者、火(一)燃、物(四)、氷(一)川、乾(四)塩、尙(三)時、無(一)措、乃(一)嬪

夷(一)者、雖有古事記、本都延波阿米表、幣幣理、界志、延波比那表、幣幣理、乃(一)天子對、下(一)つ

領巾(三)撈、乃今世の掛領といふ物、其遠風りと云リ、天、際、此、六、萃、の、一、隅、(三)千、重、之、

日知(一)御世徒、牽牛(八)直土(五)尙、義、を、り、て、く、り、り、と、男星(十)之、古、事、義、訓、漬(三)而、奴

泥塗(九)赤裳、日女(七)命、需霖(三)尙、落、者、名、解、

披(五)尙、牽牛(八)直土(五)尙、義、を、り、て、く、り、り、と、男星(十)之、古、事、義、訓、漬(三)而、奴

落(五)深塗(五)將(五)緩解(五)我妹緩(五)紐開(五)襟解(十)物、手、専ら、帯、を、解、り、と、る、日

斜(十)當土(五)直長云、日低(五)位の、日之盡(一)左訓正訓、畧訓負(九)衆名、飯(三)餉

約訓(三)玉藻者、土打(五)哭、打、母、己、引板(八)吾、波、借訓(一)日

水(三)足、水、乃、乾(十)咲、酢、左、岳、純(六)百、舩、毛、(三)裏、衣、純、一、の、義、を、し、り、假、字、一、

枚(三)乃、湖、(五)浦、乃、和、名、抄、河、内、枚、周、櫃(三)懸、而、之、久木(六)生、留、(五)久

堅(三)之、久方(三)乃、己、上、二、語、真、淵、孫星(十)牽、牛、日、晚(十)乃、同、日、倉、足(十)

者、己、上、二、語、和、名、抄、茅、蜩、紐、呂、寸(五)立、而、崇、神、紀、注、神、籙、此、云、比、奉、呂、岐、と、あり、檜、室、籙、也、檜、の、葉、と、

此、久、良、之、小、青、蟬、と、あり、假、の、神、室、の、籙、と、作、り、是、尙、有、社、の、外、更、其、神、と、崇、祭、る、時、為、さ、り、と、あり、

不部

正音 不(三)布(三)敷(五)副(一)遊、負(三)物、乃、能、(五)夫(一)扶(二)神、佐、跡(五)

伊、繁、於、毛、等、部(三)夫(一)扶(二)神、佐、跡(五)夜、麻、松、能

伊、繁、於、毛、等、部(三)夫(一)扶(二)神、佐、跡(五)夜、麻、松、能

畧音 府（九）見者佐、下通音、正訓 生（三）丹、乃河、舟足跡、太（二）心者、落（一）重者、家、留、三、零、計類、

雪（一）其草、野、深（一）其草、野、（三）佐夜、而深、約轉して下へる時ありと云、振（三）山、乃花、月、鳴、志、藝、振を去る也、廬（三）屋立、田、山、毛、等、本集此歌の注は多天世と有り、

偃（三）有、（五）字書、水也、有、（九）未、、械（五）字書、水也、有、、更深（三）夜、毛、去者、、七月（一）、故京（一）、吹響（一）、流（一）、

義訓 原（六）味、宮者、（七）朝、（八）古、ハ物の生る地と云、闌（十）夜者、、迹（三）足、（四）石、、更降（一）夜、、

蓋流（一）、踏本（九）坂上、、朋神（三）之、筑波、の男女の神を申せ、二走（四）良武、走ハ去、の誤ありと云、振仰（六）、圖（一）、

負（一）夏、禹王の時洛水、、寒過（一）、相（一）花散、、合（一）、福路（一）、布本（一）、

經者（一）、振酒（一）、戲書 蜂音（一）、

閉部

正音 霸（五）和、我、能、曾、能、、畧音 敝（一）、幣（四）、閉（五）、閉（一）、陸（一）、平（一）、

遍（一）、邊（一）、便（一）、辨（一）、別（一）、返（一）、反（一）、弁（一）、

部（一）、倍（一）、陪（一）、正訓 經（一）、歷（一）、重（一）、

隔（一）、方（一）、應（一）、阻（一）、間（一）、障（一）、於（一）、

義訓 所（一）、雖經過（一）、畧訓 家（一）、上（一）、經（一）、家（一）、

相（一）、敢（一）、晒（一）、借訓 獲（一）、重（一）、

戸（一）、篇（一）、

部立 而隔（一）、置（一）、戲書 蛇（一）、

保部

保 凡 本 煩 乏 寶 保

抱 方 富 正訓 穗 帆 百

欲 間 禱 乾 有 殆 僧 穿 禮

未 枝 未 枝 叫 吼 穿 江 髮 髻 最

未 枝 義訓 風 雖 涼 廬 五百

借訓 帆 總 欲 江

末 部

畧音 萬 滿 末 麻 摩 馬 正訓 真

間 目 際 候 纏 卷 儲

貯 設 遣 至 及 幣 種

參 隨 白 啓 奏 獻 奉

枕 雜 亂 委 退 多 數

迷 惑 數 多 間 守 細 砂

檀 弓 真 子 清 水 罷 道 雖 剩

丈夫 清 鏡 雖 居 座 益 荒 夫

用 字

正音 美 彌 未 味 尾 微 畧音 民

正訓 見 見 視 看 覩 監 相 御 酒 命 神 潔 潔

京 門 令 命 皇子 神酒 御命 御陵 御調 御衣 御母 御言

水門 京師 御面 御調 御衣 御母 御言 水 六月 水

身 潔身 京都 御面 御調 御衣 御母 御言 水 六月 水

分 水 御朝庭 水令飲 義訓 湖 水 六月 水

離宮 山上 王都 御覽 小兒 若月 見 若見 遊士 都宮 栞垣 若月 見

京兆 京兆 如 水 遊 水 咫 衝石 臣 畧訓 海 水 臣

見 南 約 訓 水 沫 借 訓 箕 御 言 三 行 御 言

輪 敏 馬 三 行 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言

御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言

御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言

御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言

御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言

御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言

御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言

御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言

御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言

御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言 御 言

神能、能、見庭、美砂、御諸、水河、三名

宮子、三宅、三禮、水河、乃

三河、三天女、御在香、見貌石、三名

之綿、將見圓山

武部

正音 武、牟、無、謀、鷓、夢、務、正訓 將

鹿、鳴山曾、迎加、行集、親、咽、向、共、務

集、生、對、古、昔者、咽、飲、紫草、天

水香樹、借訓 六、村

群 六倉、室木、戲書牛鳴

免部

正音 賣、馬、梅、妹、咩、畧音 面、眼、令、免、見

采、迷、昧、正訓 女、愛、食、眼、令、免、見

喚、愍、愛、食、眼、令、免、見

義訓 軍布、海藻、御食、借訓

目、妻、眼、海藻、目串、借訓

二、花乃三、取付而木綿ハ敷の皮ハ敷と習ヒ暮夕一寒、ハダハ夕占一、問一、夜占問占せけと訓ハ專の紙ハ造る時ハ名ガズレハヤク列ハ古語

夕ト一、平問常一、ハ毛トの字の訓上と同ト意一 逃回ハ、湯移一、去者一、湯徙去者四月夕星一、

留一、内回一、木綿牒一、義訓所一、哭耳、泣一、人二、知名集中一、勤一、不吹有夕、浪立莫一、

往反一、道一、忌一、除雪一、而一、齋忌志一、往轉一、

謹一、歸一、至一、走一、響一、

雪一、弓上一、夕衢占一、往方毛一、

畧訓一、弓一、弓削一、約訓一、從一、自一、由一、湯龜一、

借訓一、湯一、

結幡一、夕薙一、湯鞍干一、行莫一、行良行羅一、

與部

正音一、與一、余一、餘一、畧音一、用一、容一、欲一、正訓一、夜一、

宵一、世一、代一、好一、吉一、

良一、淑一、緣一、

暮一、夜一、晚一、

因一、數一、歸一、

初夜一、昨夜一、所依一、黃泉一、

將束一、

而主ヨ
結婚(九)相、(五)吉隠(二)、之旧訓を
世間(三)、之ヲヨソ、
將裝飭(九)赤何身
義

訓 齒(一)君之
縱(二)人者、(六)不知友(二)、画屋師(三)、咲也思(三)
唱(七)妻、
熟(三)人乎
曲(十)不、

而主ヨ
外(二)、尔見之(三)
儀(二)立、
任意(六)不知
所由(二)、
緣(二)、無已上二語真淵ハ此
訓を用ひ宜長ハつゝ、

訓 委曲(六)不、
欲(五)、惠ハ此
三更(八)神續ハ之、
不行(七)頼之
不逃

有(七)、
不通(二)、事無
止息(四)比者鴨
便宜(四)字キ
好去(四)奈何、哉
万歳

俗中(五)、
尋常(八)、
不詩云(八)、
死將還生(三)黄泉ノ帰
能野(七)、河(一)若、
囚鹿(三)跡

夜之盡(二)、
卷四ノ夜者夜之明流才食ト
死將還生(三)黄泉ノ帰
能野(七)、河(一)若、
囚鹿(三)跡

借訓 四(一)良人、米(三)
世(六)野之衣寸見、常
吉哉(十)、十吉咲ハ師(十)吉連哉(主)吉
吉魚張(十)、能吉隱(三)能咲ハ師(三)義

原須安
の約三河の地名
叙念(三)、香跡思
半由像處の意

戲書東細布(土)、
曉の横雲、東の空よ
布を引分ごとく見ゆと云ふなり

羅部

正音 羅(一)樂(五)
樂(三)相、山乃續紀十四ノ近江國紫香
畧音 浪(七)加欲(十)樂(八)荒、苦惜(九)良

正訓 等(一)海處女、之(三)
義訓 疑(三)君之行、
將(三)待可、意
畧訓 荒

浦(七)松、舩(二)鬼乃益、雄
借訓 等(一)朝布麻須、六(六)
濫(四)待意、七

藍(六)見欲賀、
覽(十)梅乃散、
樂(六)相、念者(六)
落(土)吾意、波已上五字
音を借まり在二辞ニ

利部

正音 利(一)理(四)里(一)梨(六)裡(六)畧音 隣(三)入(七)
朝

有(二)大雪落、(三)益、尔為有、此字集中利の假字、用ひ多し、
西留良武(三)高、之(六)吾之知、者(一)念、我母(三)孀隱、(二)日者雖照、(三)思、若此類准ハ知へ

在四相、登母

留部

正音 留一三 流一三 畧音類一三 畧訓在三立、松樹集中苗の假字、用ひ

禮部

畧音 礼一三 例五三 列五九 烈五九 連五安、曾 正訓所一浪、濕此字集中

此類皆 畧訓 村三石、毛不過 石、手見乍紀、磐余池、雙槻宮と云續紀、同、仍と石村池、辺宮と

對てゝるニ字と、徒は添ふ、又此卷の上は鴨鳴鳥の鳥と本馬は作る又吾も悲鳥の鳥馬の誤、此此外卷十

君乎社待也同卷妻之暇半欲馬なみたかひ向未、あ八例の唐さよばはひてい、向末の助字は添ふの

入一撫、津良武音八 袖古寸、津連約

呂部

正音 呂一三 侶四七 路五志、多倍乃 畧音 漏五九 畧訓 圓一摺見、山乃

と相と小麻と

和部

正音 和一三 畧音 丸一三 正訓 輪一三、乃山 吾一見、悲念 已一故、七心 朕一

言一者、為金津 稚一草、乃因迫門 穉一草、乃 海一、底七、中尔海 渡一、津海

行一不念、者 破一石、戸 速一十、行相之 行事一弦、作留、手 小童一四、手、之 小

若子一庭、久米能、我 庭一庭、子と約轉 少子一義、同 童兒一如、手、夫 小童一四、手、之 小

兒一草、新小 若莠一之、義、同 海神一義、同 海若一此、字、莊、子、に、も 義訓 回一荒、島、乎

廻四島乃浦、ホ 轉三石、ホ生 妾一、我持通吉 早八、田鳥之天十 離四立、 經一、

乃經歷の四、毛安流香惑ハ感の誤り 惑一、 吾等三、伊保里為、 戲奴八、之為ワケハ汝とウウにて

不定天、 春菜十、 變若六、 皇一、

子一、日之 春草一、 和草一、 青草七、 弱薦三、 惑者十、 方便海七、 約訓一、 吾一、

將若異異の手義を 變若反又、 方便海七、 約訓一、 吾一、

妹一、 吾家七、 吾宅六、 渡會二、 渡相二、 月一、

借訓綿 和豆肝一、 方便海七、 約訓一、 吾一、

爲部

正音爲 位一、 謂一、 正訓井 居一、 坐一、

惠部

座一、 率一、 集一、 藍一、 借訓猪

遠部

正音惠 畫一、 回一、 正訓咲 義訓咲 容一、 咲一、

狀一、 借訓咲 咲一、 咲一、 咲一、

烏

正音烏 惡一、 畧音遠 袁一、 怨一、 越一、 緒一、

雄一、 乎一、 呼一、 叫一、 少一、 芋一、 男一、 士一、

麻一、 小一、 野一、 少一、 芋一、 男一、 士一、

食一、 所聞一、 國手一、 乃令一、 有一、 飲一、 飲一、 飲一、 飲一、 飲一、

岡一、 丘一、 飛一、 起一、 訓一、 訓一、 訓一、 訓一、 訓一、

爲部

爲部 爲部 爲部 爲部 爲部 爲部 爲部 爲部 爲部 爲部

翁フヂ 山田ヤマタ 座ワレ 吾曾ワタシ 彼カ 方野カタノ 士シ 女メ 娘メ 壮士シウジ 前日マゼ 前年マゼシ

娘子メ 幼婦コトメ 拜目ハイメ 弦作留シヤクサクリ 男士物タノコモノ

時トキ 女郎花ヤロウカ 義訓ギジュン 矣ヤ 峯ミネ 峯ミネ 壮シウ 塊クヱ 雄ヲウ

能ノ 壮シウ 座在サエ 丁子テイジ 處女チュウメ 美草ミクサ 草カサ

未嫁女ミケヤメ 丁女テイメ 媿婦ケイメ 美妾ミケツメ 姬押ヒメオシ 未通女ミトウメ 佳人部カシナヒ

花ハナ 樂ガク 娘子部メノチ 將變シヤウベン 八方ハツパウ

畧訓リョクジュン 麻績マセキ 借訓セツジュン 尾ビ 士シ 越エチ

益マシ 男ヲ 食シ 鴛ウヰ 鴛ウヰ 小鞍コサ 越エチ

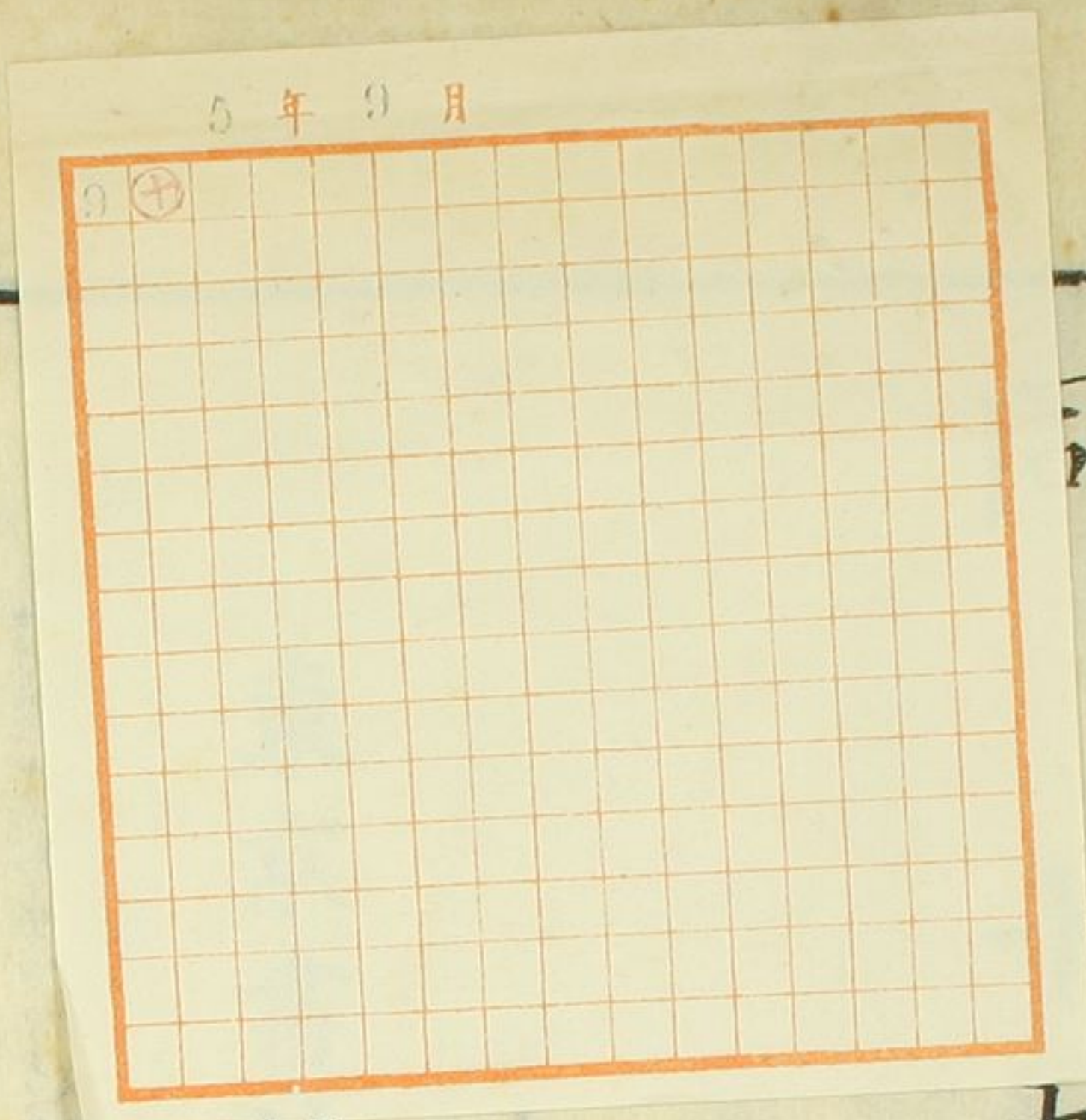
鳥トリ 德トク 越女エチメ 男為鳥オトコトリス

萬葉用字拾終

用字

四十五

文化十四年正月刻成
五年二月發行



林

神田區松住町

島屋平七

淺草區北東仲町

淺倉屋久兵衛

文化十四年正月刻成
同十五年二月發行

神田區松住町

島屋平七

東京書林

淺草區北東仲町

淺倉屋久兵衛

